



にかほ市暮らしガイドブック
2018

〈移住・Uターンに関するお問合せ〉 **にかほ市移住・Uターン推進協議会**
 [事務局] にかほ市 商工観光部 商工政策課
 〒018-0192 秋田県にかほ市象潟町字浜ノ田1 にかほ市役所象潟庁舎1階
 TEL.0184-43-7600 FAX.0184-43-3239 Email: shoukou@city.nikaho.lg.jp



 **秋田県 にかほ市**



CONTENT

- 01 にかほ市ってこんなところ
- 03 移住者インタビュー
- 07 にかほに住む
- 09 にかほで働く
- 13 子育て
- 15 教育
- 17 医療・福祉
- 18 祭り・イベント
- 19 にかほ市へ! 移住へのステップ
- 21 にかほ市の支援制度一覧
- 23 移住に関するQ&A
- 24 移住相談窓口

懐かしくて、
あたらしい。
山と海と風のまち。

秋田県の南西部、山形県との県境に位置する秋田県にかほ市は、
西に日本海が広がり、南には秀丽・鳥海山がそびえています。
山と海に抱かれた、豊かな自然の恩恵を受けるのどかなこのまちの、
もうひとつの顔となるのは、ハイテク産業。
にかほ市では、風力発電や、最先端の技術開発を手がける製造業も盛んです。

インターネットによる情報や、交通、物流の進化にともない
都市との距離感が縮まった現在は、
自分に合った暮らし方や住む場所を、自由に選べる時代です。

懐かしさと新しさが、バランスよく共存するにかほ市は、
夢あるまち、豊かなまち、元気なまち、
そして、住みたいまち。
新しい未来への可能性がひろがっています。



にかほ市ってこんなところ

暮らすほどに
好きになる、
まちの魅力。

都会暮らしがじっくりくる時もあれば、のんびり暮らしたい時もある。
仕事、子育て、そして老後など、豊かさのものは仕事だけではなく、
ライフステージによって変わってくるものじゃないでしょうか。
今の生活を変えたいな、そう思った時がチャンスです。
雄大な自然とコンパクトな都市の機能の両方が揃った秋田県にかほ市で、
「住めば都」の豊かさを、ぜひ見つけてみてください。

人口と世帯数

2018年10月31日現在

世帯数
9,423世帯

男性
11,831人

女性
12,948人

総人口
24,779人

鳥海山

秋田県と山形県の県境にまたがる標高2,236メートルの鳥海山は、出羽富士とも呼ばれる美しいシルエットの山。山すそが海岸線まで広がる、にかほ市のシンボリック存在です。

大自然

ここは、海派も山派も満足のアウトドアレジャーの宝庫。車で少し行けば温泉、海水浴場、高原、湿原や滝などがあり、自然の中で気軽にリフレッシュできます。

食の恵み

米どころ秋田の中でも新鮮な海の幸・山の幸を楽しめるにかほ市。鳥海山の伏流水が流れ、日本海で育まれる濃厚な味の岩ガキは夏の名物。冬は、タラやハタハタ漁が盛んです。地酒「飛良泉」やいちじくなども、まち自慢の特産品です。

穏やかな気候

秋田県といえば、雪国のイメージが先行するかもしれませんが、南部の海沿いにあるにかほ市は、県内で最も降雪量の少ない、穏やかな気候が自慢です。

夏は涼しく、冬は比較的温暖な地域です。
資料／気象庁データ
(気温／日平均 観測地点にかほ、降雪量／月合計 観測地点本荘)

2017年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
気温(℃)	2.7	3.1	5.0	10.4	15.9	17.1	24.2	24.9	20.8	15.2	9.8	3.7
降雪量(cm)	149	86	4	0	0	0	0	0	0	0	24	73

にかほ市マスコット

にかほっぺん

「にかほ市には、ほっぺが落ちるほどおいしいものがたくさん!」をPR! 「にかほ」、「ほっぺ」、「ペンギン」を組み合わせた「にかほっぺん」がにかほを紹介しています。



日本海

にかほ市の西側一帯には日本海が広がります。漁業も盛んで、新鮮な海の幸を堪能できます。夕陽が海に沈む夕暮れの時間帯は、空と海を鮮やかに染め、いつでも感動的です。

九十九島

江戸時代に「おくのほそ道」の俳聖・松尾芭蕉がここを訪れ、句を詠みました。田園に島が点在する「九十九島」の地形を眺めると、かつては渦だったことがわかります。

パイオニアのまち

にかほ市は南極探検家の白瀬矗中尉や、TDK(株)の創業者・斎藤憲三氏が生まれ育ったまち。「新しい可能性に挑戦する」という精神は、今なお地域や子どもたちの教育に息づいています。

アクセス

羽田空港から秋田空港まで、空の便を使うと約65分。日本海東北自動車道で秋田空港からにかほ市までの所要時間は車で約55分。秋田市からにかほ市までは車で約1時間です。



大切にしたいのは 家族と過ごす時間。

仕事や住まいの支援制度は
思った以上にいろいろあります。
こまめに情報をチェックしてみてください。

HITOKOTO

移住を考えている人へひとこと

移住者 INTERVIEW



木内 正信さん一家

●Profile

出身地：秋田県にかほ市
家族構成：妻・子ども二人
2016年8月に奈良県から家族とともにUターン。
同年11月、にかほ市内にハンドメイドの革工房を移転オープンした。
革工房knc Leather Factory <http://knc-lf.com/>



1



2



3



4



5



6

1 木内さんが営む革工房。店内で寛げるようカフェスペースも設けました。 2 もともと手先が器用だったという木内さん。ここで革製品の制作をします。
3 長男の陽真くんは、小学校入学と同時に市のサッカークラブに入学。友達がさらに増えたそう。 4 「ふるさとのいろんな景色を見せた」と木内さん。
5 にかほ市に来た頃は、虫を怖がっていたという結雅ちゃん。今では二人とも自然が大好きなんだそう。 6 初めて訪れた元滝で子どもたちは大喜び。

生まれ育った場所で、子育てを

高校卒業と同時ににかほ市を離れ、このたび10年ぶりに家族を連れてふるさとに戻ってきました。そして、以前住んでいた奈良県で営んでいた革工房を、にかほ市に移転オープンしました。

若い頃は考えなかったけれど、自分の家族ができてからは、いつか生まれ育った場所で子どもたちを育てたいと思うようになりました。ここに住めば、両親もすぐに孫たちに会えますしね。長男が小学校に入るタイミングに合わせ、できるだけ早く新しい環境に馴染めるよう、入学する前の夏に引っ越ししました。子どもたちはのびのびと今の暮らしを楽しんでいるので、戻ってきてよかったです。

移住までの準備期間は半年ほど。まずは、にかほ市の空き家情報登録制度に登録して住まいを探しました。自宅はすんなり決まったのですが、テナント用の不動産情報が少なく、今の店舗を見つけるまではやや苦労しました。移住に関する情報収集はにかほ市のほか、秋田県やNPO団体などの支援制度を調べてみて、引っ越しの助成金などを活用しました。

秋田だからできることもある

工房では、ハンドメイドの革製品やアクセサリーの制作・販売をしています。いまはネット通販もできるし、奈良にいた頃の常連さんや友人とはSNSでつながっているし、移転に関しては、それほど不安はありませんでした。

はじめの3カ月は、開店準備をしました。外装以外はほぼ自分で作業したので、店の前を通る地元の人たちが「ここに何ができるの?」と気さくに声をかけてくれました。

嬉しい驚きだったのは、以前よりも客層が広がったこと。この地域で革工房は珍しいようで、若い年代だけではなく、おじいちゃん・おばあちゃんが大切に使ってきたバッグを修理しにきてくれたり、遠方のお客様が立ち寄ってくれたりします。イベントへの出店で知り合いが増えていくのも楽しいですね。

ここに来てからは、海で拾った流木でアクセサリーも作るようになりました。今後は、樺細工など伝統工芸と革のコラボ製品にも挑戦したいです。秋田だからできる楽しみ方を見つけていきます。

まちの人たちが、あったかい

妻・美歩さん（新潟県出身）

にかほ市に暮らして1年が経ちました。越してくる前は、うまくやっていけるのかと不安もありましたが、子どもたちがすんなりとこの環境に溶け込んだのでほっとしました。ことばの壁はまだ若干あるものの、近所を散歩しているだけでまちの人たちが温かく声をかけてくださるので、とても感謝しています。引っ越し前は待機児童でしたが、こちらではすぐに保育園に入れたこともあり、ママ友達の誘いを受けて、私も最近仕事に出るようになりました。

にかほ市の自然が気に入っています。奈良県には海がなかったけれど、こっちは豊富な種類のお魚を美味しく食べられるので、子どもたちも喜んでます。市内でもまだ行ったことがない場所が多いので、いろんなところへ出かけてみようと思います。いつも眺めている鳥海山に、家族全員で登ってみたいですね。

利用した助成・支援

移住前に、にかほ市の「空き家情報バンク」を利用しての住まいを探しました。希望していた地域にあり、比較的新しい物件だったので、リフォームせずに暮らすことができました。実家からも近いので、とても満足しています。



♡ 空き家情報バンク ▶P8-20へ

♡ 定住奨励金 ▶P20へ

食と風土の魅力を にかほから伝えたい。

HITOKOTO

都会にはなかった魅力を見つけて
新しい地域をつくる楽しさがあります。

移住を考えている人へひとこと

移住者
INTERVIEW



渡邊 健一さん
村上 清香さん

●Profile

出身地：秋田県潟上市（渡邊さん）、秋田県秋田市（村上さん）
渡邊さんはシェフで、村上さんはソムリエ。東京都で長年活躍したのち、
2017年10月ににかほ市へ移住。2018年4月、
にかほ市内にフレンチレストラン「Rémede nikaho」を開店。



1 公私にわたりパートナーのお二人は、にかほ市で入籍予定。 2 シェフの渡邊さんは「The Best Of Chef 50」という本にも紹介されています。
3 ソムリエとサービス担当の村上さん。料理に合わせたワインのペアリングも好評です。 4 秋のコースの一例。お店の評判を聞きつけて、県外からもお客さまがやってきます。
5 かつては迎賓館だった店内。料理のみならず、盛り付け、景観、サービスなどでも癒しを演出。 6 鳥海山麓にある農業法人「福寿草」からは、採れたての新鮮な野菜を調達します。

にかほの風景を見て、移住を決意

2017年秋、オーナー企業の飲食部門に関わることをきっかけに、二人でにかほ市に移住しました。はじめてにかほに案内された時、山の上から市内を一望しました。高原には牧場があり、海と山の距離感がものすごく近い。ひと目でこの土地に惹きつけられました。いまの店舗は、かつて地元企業の迎賓館として利用されていた邸宅。庭園にも、内装にもほとんど手を加えず、昔のままの気品を残しています。

それまでは銀座で働いていて、次に行くなら環境を変えたいと思っていました。故郷の秋田に戻るというよりも、にかほが気に入ったんです。ゼロから新しいことを始める気持ちでここにやって来ました。

何でも簡単に手に入る東京に比べると、確かに不便を感じることもあります。だけど田舎には、不便なりの良さもある。都会ではできない経験、自然に囲まれた健康的な暮らし、そして何より食の仕事に集中して向き合う時間が増えた実感しています。

発信するレストランであり続けたい

「レメデニカホ」の「レメデ」は、自然のチカラで治療するという意味。にかほの環境と、この土地の食材を使った料理で癒しを提供したいと思いました。秋田の人はもちろん、それ以上に東京や県外からのお客さまが、にかほへはるばる足を運んでくださるレストランにしたかったので、「ニカホ」を店名に冠しました。県外の方には、新鮮な魚介、由利牛、イチジクなど、にかほの特産を。そして地域の方には、普段食べる機会のない珍しい食材を楽しんでもらえるよう、メニューのバランスを考えます。

また、秋田にいなながらも「発信できる力をもつレストラン」でありたいというのは、昔から変わらぬ想いです。ここに来てからは「たべあきない食べる通信fromあきた」という情報誌を二人で責任編集しています。毎号ひとつの食材を特集し、生産者の声とともに秋田の食文化の魅力を全国に紹介しています。食の現場でつながる新しい出会いと発見を新鮮に感じています。

食でひろがる新たな可能性

レストランから綺麗に見える鳥海山を目指して車を走らせると、グループ企業の農業法人「福寿草」があります。廃校だった建物のまわりには、広大な田畑があり、伝統野菜のカナカブのほか、30品目あまりの野菜を栽培・加工し、農業と自然を守る環境づくりを行っています。私たちが使うお米と野菜の多くは、ここから直接届けてもらいます。また、魚介類はすぐそばにある漁港から仕入れられるので、新鮮な食材には本当に恵まれています。

「秋田になかった野菜をつくりたい」「ブドウを栽培して地域産のワインをつくってみたい」。お店と産地の距離が近いにかほに來たことで、これから挑戦したいことも、少しずつ見えてきました。

「福寿草」では、就農したい方たちの受け入れもしています。農業や食に興味のある方は、ぜひ一度にかほに足を運んでみてください。



Rémede nikaho by Kenichi Watanabe

厳選した食材、生産者の方々から受け取った命を、秋田ならではの発酵食文化を用いたフランス料理で表現する「レメデニカホ」。海と山の幸に恵まれる食の宝庫・にかほから、食材本来の魅力を引き出すアイデアに満ちたメニューを、旬の季節にあわせて月替わりのコースで提供しています。（完全予約制）

秋田県にかほ市平沢字家ノ後49-1 TEL.0184-74-7065
<https://remede.jp/>

利用した助成・支援

秋田県東京事務所（Aターンサポートセンター）を
窓口に移住の相談と計画を進めました。

▶P24へ

すめば
にかほ

住みたい家を見つける。

にかほに住む

にかほ市はこんなまち

秋田県の南西部に位置するにかほ市は、県内で最も早く春が訪れる温暖な気候の地域。南に鳥海山、西に日本海をのぞむ風光明媚なまちです。鳥海山の山すそが海岸近くまで延び、海岸部の平野部に市街地が広がっています。市内には国道7号と日本海東北自動車道、JR羽越本線が走り、秋田県南西部の玄関口となっています。



金浦漁港



日本海を一望できる天然温泉も人気です。

道の駅「象潟 ねむの丘」



「日本の快水浴場百選」「日本の夕陽百選」に選ばれた海水浴場。

象潟海水浴場



象潟にあるショッピングエリア。

武道島ショッピングエリア

にかほ市は日本海の潮風が心地よい港町。

海沿いには、風情ある瓦屋根の住宅が軒を連ねます。

移住後の住まいを見つける際の選択肢のひとつにもなっているのは、近年増え続けている「空き家」です。

長く住み継がれてきた住宅を、購入する・借りる支援も市で積極的に行っています。

- J TDK歴史みらい館
- K 平沢小学校
- L にかほ市役所（仁賀保庁舎）
- M フェライト子ども科学館
- N 仁賀保中学校
- O 院内小学校
- P 白瀬南極探検隊記念館

- Q にかほ市役所（金浦庁舎）
- 金浦小学校
- 金浦中学校
- R 仁賀保高校
- S 象潟小学校
- T にかほ市役所（象潟庁舎）
- 象潟中学校
- U 象潟郷土資料館



仁賀保ショッピングエリア



土田牧場



元滝伏流水



中島台レクリエーションの森



五合目 鉾立

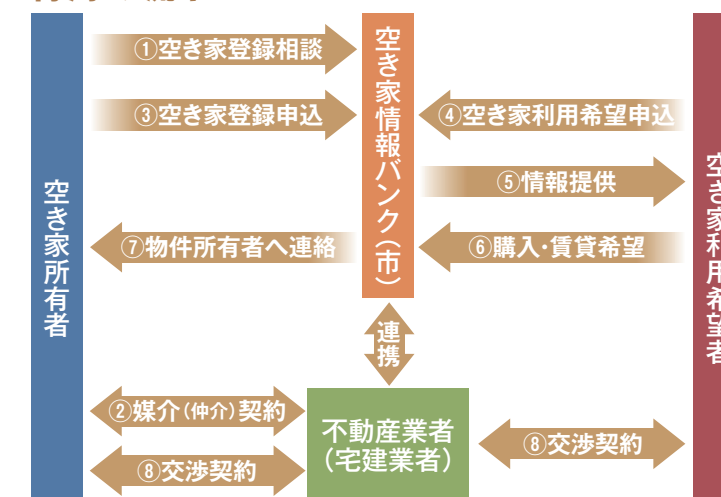
にかほ市では空き家情報のご提供のほかにも、住まいに関するさまざまな助成を行っています。
くわしくはP20・21へ

まずは、空き家情報バンクを活用しよう！

にかほ市空き家情報バンク

「にかほ市空き家情報登録制度」により、
空き家の所有者から申請があった
市内の空き家情報をホームページ等で公開しています。
<https://www.nikahome.jp/pages/vacant-house-information>

利用の流れ



にかほ市内の空き家を探している移住希望者に対して、
にかほ市空き家情報登録制度の利用希望者に登録することにより、
空き家に関する情報を提供します。

にかほ市公営住宅

にかほ市には、集合型の市営住宅が300戸、戸建型の特定住宅が16戸あります。一部の市営住宅はメゾネット式(2階型住宅)となっていて小さなお子様がいる世帯におすすです。

建設課 0184-38-4307

市営住宅一覧 ※左ページ参照

- 1 ひまわり
- 2 はまなす
- 3 さくら
- 4 つばき
- 5 高森
- 6 松ヶ丘
- 7 建石
- 8 下山

聞いてみました！
にかほ市の
住まい事情

空き家情報バンク担当
齊藤 覚さん(商工政策課)

にかほ市の住まいの特徴は？
秋田の冬は寒くない？

にかほ市は、秋田県内でも比較的雪が少ない地域です。冬に雪下ろしの必要がないので、瓦屋根の住宅が多いです。東北より南の地域と比較すると、気温は低くなりますが、暖房設備等をうまく活用することで、冬でも家の中では快適に過ごせます。

空き家情報登録バンクの
これまでの実績は？

平成20年の制度開始以来、平成30年10月末までのご成約件数は22件です。ご家族連れの世帯の利用が多いですね。最新の情報は、にかほ市移住・リターン・お仕事支援ポータルサイト「にかほーむ」でご確認ください。

空き家情報登録バンクの
メリットを教えてください

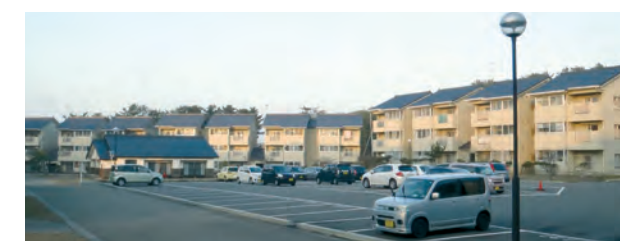
比較的安価に住宅を購入する事が可能で、登録物件をご購入された移住者の方は、定住奨励金をご利用いただけます。また、ご購入後の物件をリフォームする場合は、にかほ市のリフォーム補助金を申請できます。

成約までにかかる期間は
どれくらいですか？

物件により異なりますが、ご利用希望登録からご成約までに数カ月かかる場合もあるので、余裕をもってご相談いただくことをお勧めします。

移住前に希望の物件を
見学できますか？

事前に担当の商工政策課までご連絡いただければ、見学日時を調整のうえ、内見することが可能です。
商工政策課 0184-43-7600





新しい土地、
新しい自分。

にかほで 働く

移住を決めたら、しっかり考えたいのはこれからの仕事のこと。
都会に比べてまちの規模は小さくても、にかほ市には自然資源、観光資源、
そしてものづくり企業など、幅広い職種とサポート体制が整っています。
通勤ラッシュが無いのも、小さなまちの大きな魅力。
にかほ市で暮らし、働く人たちの声を集めてみました。



INTERVIEW
齋藤 ゆきさん
ダイワ工業株式会社

製造業



私の地元・にかほ市は、昔から製造業が盛んなまちです。学校の授業の一環で「フェライト子ども科学館」へ訪れるなど、幼い頃からこの環境に慣れ親しんでいたこともあり、ものづくりに興味を持つようになりました。金型から大型の機械設計製造までを一貫して行うこの会社で、私は納品と製造管理を担当しています。全部で4つある工場では、受注や納期に合わせてさまざまな製品が同時進行でつくられています。注文書を管理し、スケジュールを滞りなく進めていくのが私の仕事です。

製造業といえば、男の職場というイメージがありますが、私たち事務方をはじめ、女性従業員も年々少しずつ増えています。にかほ市の製造業は土日が休みの企業が多く、働きやすい環境が整えられていると思います。時間単位で休暇も取れるので、育児中のママたちも安心して仕事ができます。私は市の吹奏楽団体に所属しているので、休みの日はクラリネットの練習や演奏活動を楽しんでいます。会社は違っても、製造業に従事する友だちが多いので、仕事のことについて話し合う機会も多いですね。

首都圏では仕事を中心の生活だとすれば、



田舎には田舎なりのスタイルがあります。にかほ市ではしっかり働いて、余暇を子育てや趣味の時間にたっぷりと費やせます。さらに食べ物は美味しく、景色も素晴らしい。所得だけで比較してしまうと、都会にはかなわないのかもしれませんが、長い目で考えると、こちらの生活もなかなかいいものです。

にかほの製造業

にかほ市は、TDK(株)の創業者が生まれた地で、市内には県下屈指の工業集積地が点在し、「ものづくり」のまちとして製造業が盛んな地域です。就業人口の約3割が製造業に従事し、電子部品や生産用機械では、秋田県及び東北地方でトップ級の出荷額を誇っています。



INTERVIEW
佐藤 佑果子さん 伊藤 歩さん 中里 彩絵さん 今野 翠さん
株式会社プレステージ・インターナショナル 秋田BPOキャンパス にかほランチ

サービス業



(株)プレステージ・インターナショナルはBPO事業を運営する企業です。BPOとは、ビジネス・プロセス・アウトソーシングの略。企業内の特定の業務プロセスを外部の専門事業者に委託する事業のことです。

私たちは、市内に2か所ある「にかほランチ」の象潟オフィスで、「海外日本語サービス」というセクションを担当しています。ここでは、海外にいる日本人駐在員や海外旅行者が必要とする、現地での傷害・医療保険等の書類サポートを一括で行います。この仕事は、これまでにかほ市にはなかった

新しいサービス業のひとつです。

出社して、朝いちばんの仕事は世界各国から届くメールのチェックです。依頼に合わせてチームごとに分かれ、滞りなく手続きを進めていきます。普段より忙しくなるのは、夏休みなど海外旅行の多い時期。うまく仕事を進められた時は、達成感を味わえます。



現在67名いるスタッフのうち、男性は4名のみ。私たちの職場は、幅広い年代の女性が生き生きと働ける場でもあります。働くママが多いので、困った時はお互いさま。チーム内で理解し、助け合っています。土日は休みで、残業がほとんどないため、休日や夜は子どもたちとゆっくり過ごせますし、子育てをしていなくても、趣味や旅行に時間を使えます。それぞれのライフスタイルに合わせて仕事を楽しんでいます。

にかほ市は、雪が少なく、日本海に沈む夕陽も見事です。心豊かに暮らせる、とてもいいまちですよ。

にかほの新産業

にかほ市では、雇用創出を目的として企業誘致に力を入れています。2014年に新たなサービス業であるBPO事業を運営する(株)プレステージ・インターナショナル(本社・東京)を誘致し、「にかほランチ」として平沢・象潟地区の2か所にオフィスが開設されました。



新鮮採れたての海の幸・山の幸を毎日食べられるのは、にかほ市の自慢のひとつ。
自然とともに生きるよろこびを実感できる、農業、林業、漁業などの第1次産業も、
まちには欠かせない大きな力です。市では、次世代を担う新規参入者の支援も行っています。
若い世代では、農林水産業を軸にした、新しい事業を展開する人達もどんどん増えています。

🌐 仕事に関する支援はP22へ ➡

農業にチャレンジしやすい環境です。

INTERVIEW

佐々木 剣さん一家

佐々木剣さん・純子さん・凧くん

農家

農業



地元のかほ市樋目野で、夫婦で小菊や輪菊の栽培をしています。にかほ市は兼業農家が多い地域ですが、私は製造業に携わったあと、28歳で兼業の米農家だった父の減反田を譲り受けて専業の園芸農家になりました。土地があったこと、自分ひとりでも仕事ができることが就農のきっかけでした。

小菊の栽培期間は約100日。春から11月までは露地で、冬の間はビニールハウスで栽培します。花の繁忙期はお盆とお彼岸の季節です。蕾の状態のまま1本ずつ丁寧に摘み取り、箱詰めから出荷までを手掛けているの

で、まさに時間との勝負。出荷にちょうどいいタイミングを逃さないよう、注意を払いながら日々の栽培に取り組んでいます。息子にとって、畑は格好の遊び場。虫や動物と戯れて、すくすくと成長しています。



作業風景

にかほ市は、雪が少なく畑の水はけが良いので、農業には適した地域です。これから農

業を始めたい人たちにとっては、チャレンジしやすい環境が整っていると思います。市や県では、研修制度、農地の取得、そして就農アドバイザーによるサポートなどさまざまな制度が活用できます。

今から20年前、私がゼロからこの仕事に就いた頃に比べると、新規就農者への支援体制は格段に恵まれているなあ、と実感しています。

これからは、若い世代がにかほ市の農業を切り拓いていく時代です。初めての方でも私たちがついているので、安心して下さい。ぜひ、一緒にがんばっていきましょう。

にかほの農業

鳥海山の麓に広がる田畑では、土づくり実証米などの良質な米をはじめ、ネギなどの生産が盛んに行われています。近年は、小菊などを生産する「園芸メガ団地」が整備され、若手農業者が活躍しています。



INTERVIEW

浅倉 智さん

漁師

成果がはっきりわかる、
漁師は本当に面白い。

漁業



生まれも育ちもにかほ市象潟町小砂川。海がすぐそばにあるので、小さい頃から潜るのが好きでした。僕は魚屋に勤めたのち、22歳で地元・小砂川漁港の漁師になりました。夏は素潜りで岩ガキ漁、ほかの季節は仲間たちと底引き網の漁船に乗っています。休みの日も海にいたことが多いですね。

岩ガキ漁が解禁になると、毎朝5時に起床。海の状態を一度確認してから、7時に船を出し、お昼くらいまで海に潜っています。危険を感じる時もたまにはありますが、自然のルールを守りながら「自分で獲って、メシを

食う」という感覚がわかってくると、その日の成果がはっきりと目に見える岩ガキ漁は本当に面白い。漁師を辞めたいと思ったことは今までに一度もないですね。

いま小砂川漁港では、6人いる漁師のうち60代以下は僕ひとりです。にかほ市の漁業にも着実に高齢化が進んでいるので、これからにかほ市で漁師になってみたいと考えている人は、大歓迎です。若い人たちには、もっともっと海の仕事の魅力を伝えていきたいですね。この先も、地元で安定した漁業を続けていくために大切なのは、人とのつながりだと思っています。だから、職場は違っ



漁具

ても、ほかの漁港の漁師たちとコミュニケーションをとるように心がけています。

にかほ市は、海も山もあり、湧き水も豊富です。やろうと思えば、大自然の恵みを受けて自給自足で生活できるのがこの町のいいところだと感じています。

にかほの漁業

市内には4つの漁港が点在し、底引き漁業などにより日本海の旬な魚が豊富に水揚げされています。鳥海山からのミネラル豊富な伏流水の恵みが詰まった岩ガキは夏の風物詩。冬のハタハタやタラも特産品として有名です。



すめば
にかほ

ゆったり、
たのしく。

子育て

スクスク
育ってね!

自然豊かで、環境も穏やか。のんびり暮らせるにかほ市は、子育てにもやさしいまち。
お子さんの健やかな成長を地域ぐるみで応援し、質の高いサポートを提供しています。
子育て支援機関やサークルは、情報交換の場としてママたちの交流もゆるやかに広がります。



INTERVIEW

ママの声 (にかほ暮らし3年目)

夫の転勤を機に、秋田県の北部からにかほ市へ引っ越してきました。にかほ市の冬は雪が少なく、過ごしやすいですね。こちらに来てから、二人目を出産しました。医療費や保育料など、子育て支援が幅広く充実しているので、とても助かっています。また、公園や子ども施設が多いので、外遊びもたくさん楽しめます。時間がある時は、象潟保健センター内の「すくすくひろば」で娘を遊ばせます。スタッフの皆さんはとても親切。転勤族の利用者も多く、親子での仲間づくりや情報交換にも役立ちます。

子育てに関する支援はP22へ →

親子で気軽に遊びに来てね!



INTERVIEW

三浦 まゆみさん

象潟保健センター
保育士

岩井 貴子さん

象潟保健センター
保健師

竹内 恵子さん

象潟保健センター
保健師



にかほ市の子育て支援機関・ボランティア

3つの地域子育て支援センター

にかほ市には、気軽に利用できる拠点として、市内に3か所の子育て支援センターを設け、親子の交流や育児に関する相談・援助を行っています。楽しいイベントも盛りだくさん。お住まいの地区に限らず、どのセンターも自由にご利用できます。

① 仁賀保地域子育て支援センター (にかほ保育園内)
TEL.0184-32-3200

② 金浦地域子育て支援センター (勢至保育園内)
TEL.0184-38-2248

③ 象潟地域子育て支援センター (象潟保健センター内)
TEL.0184-43-7501

子育てサークル「まんまある」

乳幼児のお子さんを持つパパ・ママ向けに市主催の講座やイベントを行っています。託児付きなので安心して参加できます。

おもちゃボランティア「メルヘン」

にかほ市社会福祉協議会が主催する「おもちゃライブラリー」のサポート団体で、おもちゃを通じて就学前のお子さんや保護者どうしの交流、情報交換等の場を提供しています。

にかほ市の 保育機関の数

(2018年10月現在)

保育園
7 園
園児数計
498名
定員計565名

認定こども園
2 園
園児数計
232名
定員計240名

待機児童は
ゼロ!

☆PICK UP!

象潟地域子育て支援センター 「親と子のニコニコクラブ」



象潟地域の子育て支援センターは、にかほ市役所象潟庁舎に隣接する象潟保健センター内にあります。このセンターの特徴は、保育士さん、保健師さんが常駐していること。子育ての悩みを相談したり、家族の健康についてアドバイスをもらったりと気軽に立ち寄ることが出来ます。「親と子のニコニコクラブ」では、広い遊び場「すくすくひろば」を開放しており、冷暖房完備で夏や雨の日、寒い冬場にも大変喜ばれています。また、「ニコニコ相談日」の実施、年間を通じてママも子どもも楽しめるイベントや育児講座を多数開催しています。



すめば
にかほ

よく遊んで、
よく学ぼう！

教育

地域が
学び場！

秋田県は、近年「全国学力トップクラス」の県として高い関心を集めています。
にかほ市では、少人数学習によるきめ細やかな指導と、
豊かな地域資源を活用した学習環境の充実に力を入れています。

INTERVIEW

菱刈 宏記さん

にかほ市教育委員会
教育研究所指導主事

にかほ市には自然があり、歴史があり、文化遺産があり、TDK(株)の最新科学に親しむ機会もあります。さらに、平成28年度には「鳥海山・飛島ジオパーク」が認定され、子どもたちにとっては地域全体が素晴らしい学びの場となっているのが特長です。平成29年度より市内の小・中学校で、地域との絆をさらに深め、これからの時代を生き抜く力を育む学習プログラム「にかほ地域学」がスタートしました。授業は少人数制で、学校生活や学習相談体制もしっかりと、一人ひとりを大切にする教育を推進しています。

地域密着型の授業「にかほ地域学」

にかほ市の人・もの・ことについて積極的に関わり、楽しく学べる学習プログラムです。柱となるのは「歴史・文化」「ジオ学」「最新科学」「防災教育」の4項目。地域の魅力を知ること、ふるさとへの愛着を深めていきます。

◆**にかほ地域学 授業の一例** ※授業内容は学校、学年によって異なります。

- ・鳥海山の植物の学習
- ・ロボコン教室
- ・竹嶋瀧力ヌー体験
- ・フェライト移動教室
- ・豆腐作り体験
- ・避難訓練と保護者引渡
- ・池田修三木版画ワークショップ
- ・自然災害とともに生きる

ベテラン教師による学習指導

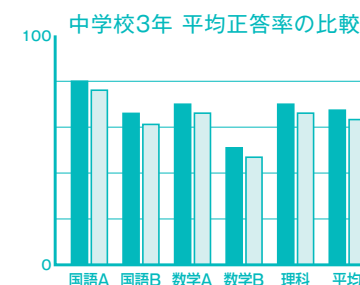
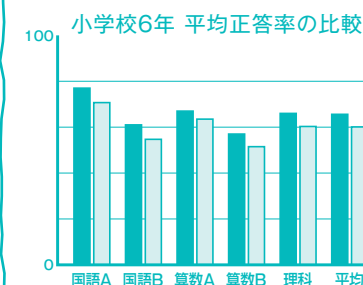
にかほ市では、理科、算数・数学、英語教育の充実を図るために、教科指導に卓越した力のある教育専門監や退職した教員を教育指導員として学校に配置しています。また、学校生活・学習サポート支援員の数は、7つの小・中学校に28名。児童生徒数の割合に対して多い人数を配置しているため、お子さんが学習や学校生活で困ったときは、いつでも相談できる体制です。さらに、にかほ市では、デジタル教科書の活用やタブレットの導入など、最新式の情報教育にも積極的に取り組んでいます。



秋田の子どもの学力は、 全国トップクラス！

秋田の魅力のひとつとなるのは、恵まれた教育環境です。文部科学省で小学6年生と中学3年生を対象に毎年実施される「全国学力・学習状況調査」では、平成19年度の開始以来、秋田県の子どもたちが全国上位の成績を維持して、注目を集めています。秋田県では、応用力を身につける「課題解決型・探求型授業」や「家庭学習ノート」の活用を推進して、自ら学ぶ楽しさを引き出しています。にかほ市にも毎年、全国各地から教員が研修に訪れています。

平成30年度「全国学力・学習状況調査」



全ての教科において、秋田県の平均正答率が、小学校で3ポイント以上、中学校で4ポイント以上、全国の平均正答率を上回っています。

出典：秋田県「全国学力・学習状況調査結果概要」

にかほ市の 教育機関の数

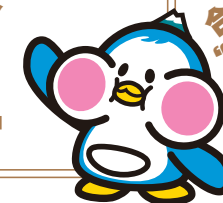
(2018年4月現在)



小学校
4校
児童数計
1,063名



中学校
3校
生徒数計
661名



合言葉は
“子どものために!”

子どもの豊かな感性を育む、4つのミュージアム。

フェライト子ども科学館

TDK(株)の創設者・斎藤憲三氏の生誕100年を記念してつくられた科学のミュージアム。「ふしぎだな」と感じる子どもたちの好奇心を刺激します。



TDK歴史みらい館

電子機器開発の歴史を辿る「歴史ゾーン」と未来の暮らしを体験できる「みらいゾーン」が楽しめます。また磁場を可視化し体験できるシアター(制作:チームラボ)は必見です。



白瀬南極探検隊記念館

にかほ市金浦出身の南極探検隊長・白瀬矗と隊員たちが、明治後期に日本人として初めて挑戦した南極探検の資料を展示する、探検と極地のミュージアム。オーロラの映像を体感できます。



象潟郷土資料館

「おくのほそ道」でにかほ市象潟を訪れた俳聖・松尾芭蕉ゆかりの資料や、近年全国的に注目されている木版画家・池田修三の、子どもたちの情景を中心とした作品が展示されています。





安心して
暮らせる毎日

医療 福祉

にかほ市が目指すのは、赤ちゃんからお年寄りまでが安心して暮らせる、やさしいまちづくり。いつでも明るく健やかに、そして老後も孤独や介護の不安な気持ちを和らげ、穏やかな毎日を過ごせるよう、地域を包括した支援と情報提供で市民の生活を見守ります。



地域連携の医療システム

にかほ市の医療機関



総合病院

0

市外救急病院
【由利本荘市】

一般病院

2

医院・診療所

18



こどもは医療費無料

赤ちゃんから高校生までの医療費は無料。
にかほ市が独自に助成します。



休日当番医

休日はにかほ市内の医療機関が当番制で対応します。

充実の福祉サービス

ひとりじゃない、地域ぐるみで“見守る”福祉



声かけ見守り巡回事業

高齢者のみの世帯へ定期的に訪問し、孤独やひきこもりの解消につなげます。



安心生活見守り支援事業

もの忘れが気になる等、見守りが必要な方への定期訪問相談を実施しています。



集落サロン事業

各集落の自治会館等に集い、介護予防の取り組みや生きがい交流を開催しています。

にかほ市には夜間・救急時などに対応できる総合病院がありません。でもご安心を!市では近隣の由利本荘市にある3つの総合病院との「地域医療連携」を行っています。日常的な診療や健康管理は、かかりつけ医のいるにかほ市内の病院・診療所へ。専門的な検査や手術・入院治療は市外の総合病院へ。主治医もそれぞれの地域で連携しています。いつまでも住み慣れた場所で、安心して暮らし続けるためのしくみづくりと支援をきめ細やかに行っています。

シニア世代を応援するにかほ市には、グラウンドゴルフ場や温水プール、トレーニングルームなど、日々の健康管理に役立つ運動施設が揃っています。また、70歳以上の方は、月2回、温泉・入浴施設での無料入浴もできます。できるだけ自立した生活を続けられるよう、介護予防のためのサービスも幅広く提供しています。福祉施設や在宅介護サービスも充実しているので、一人暮らし世帯や要介護者世帯でも、困ったことがあればご相談ください。



祭り文化で
まちを知る

祭り イベント

にかほ市では、豊かな地域性を活かした、ユニークなお祭りやイベントが行われています。代々受け継がれてきた伝統や歴史、そして新しく生まれた文化から、まちの現在の姿が見えてくるはずです。



小湊のチョウクライロ舞

場所／金峰神社 開催日／5月最終土曜日

金峰神社は、鳥海山修験(しゅげん)の拠点のひとつ。石段参道を下ると、高さ26メートル幅11メートルの国指定名勝「奈曽の白瀑谷(しらたぎだに)」があります。例大祭では、境内の土舞台の上で、国の重要無形民俗文化財にも指定されている小湊のチョウクライロ舞が披露されます。



掛魚まつり(別名:たらまつり)

場所／金浦山神社・勢至公園 開催日／2月4日

掛魚(かけよ)とは、漁師が氏神様にお供える魚のことで、祭りの主役となる大タラは一匹ずつ荒縄に釣り下げられ、海上安全、豊漁を願って金浦山神社の神前に供えられます。神事の後には、勢至公園であつあつのたら汁を食べることもできます。



秋田トライアスロン芭蕉レース象潟大会

場所／にかほ市内 開催日／海の日前日

秋田県はもとより東北を代表する夏の一大イベントとして全国のトライアスリートが集まる大会です。象潟海岸(「日本の渚百選」「日本の夕陽百選」)でスイム1.5Km、鳥海山麓、漁港周辺、名勝九十九島の中をバイク40Km、芭蕉ゆかりの街中をラン10Kmのコースと、「ちょべつと(ハーフ)」コースがあり、ジュニア大会も合わせて開催します。



超神ネイガー

「海を、山を、秋田を守る秋田発・地産地消ヒーロー」として絶賛活躍中の超神ネイガーは、にかほ市で誕生しました。秋田弁で話す正義の味方には、ユニークな仲間たちもいっぱい。全国にもファンが多く、子どもからお年寄りまで幅広く親しまれています。



日本海花火フェスティバルinにかほ

場所／象潟海岸 開催日／8月16日

伝統ある洋上花火は、にかほの夏の風物詩。海中へ打ち込まれるスターマインは、半円形に開き、海面に映ってきれいに見えます。メインは長さ350メートルで海岸線に広がるナイアガラ。目の前に流れ落ちる光の滝のフィナーレは毎年好評です。



にかほ市へ! 移住へのステップ

移住前に活用できる制度について



Step1

にかほ市移住希望者
登録制度にエントリーする。
にかほ一む www.nikahome.jp



Step2

「にかほ一む」「移住イベント」で
移住関連情報を集める。
にかほ一む www.nikahome.jp



Step3

にかほ市で定期的に行われる
お試し移住体験に参加。
(※移住希望登録済みの方は補助金制度あり)



Step4

仕事を決める。
にかほJOB
www.nikahome.jp/nikahojob



Step5

住まいを決める。
にかほ一む
www.nikahome.jp



GOAL

にかほ市に住民登録。



ようこそ!
今日からにかほ市民

にかほ市移住希望者登録制度

にかほ市への移住を希望している登録者に対して、にかほ市のさまざまな情報を郵便またはメール等により提供します。

- 移住・Uターン情報(支援制度、補助金等)
- 仕事情報(就職、起業・創業支援、農林水産業)
- 住まいの情報(空き家情報バンク、市営住宅等)
- 行政情報
- イベント情報(首都圏でのにかほ市出展情報等)
- 地域・自然情報(観光イベント、市内や集落の行事等)
- 子育て情報(県・市の子育て支援制度等)
- その他

移住・Uターン・お仕事支援ポータルサイト「にかほ一む」



移住・Uターンを考える際に必要となる生活情報や、お仕事情報、各種支援制度など満載。移住を考えている方はぜひご覧ください。

www.nikahome.jp

にかほ一む

検索



登録手続き…「にかほ一む」内の登録フォームから簡単に登録できます。
郵送等での登録を希望される方は、登録用紙をご請求ください。

移住イベントでの 情報収集・個別相談

にかほ市は、首都圏等で移住相談会を開催したり、関係機関が主催する移住イベントに参加しています。移住相談会では、市の魅力や特色のPR、移住を考えている方との個別相談を実施し、移住に関する支援制度など様々な情報提供を行っています。



お試し移住体験

にかほ市の自然環境、生活環境に少しでも慣れてもらい、移住へのステップとしていただくため、お試し移住体験ツアーを実施しています。「にかほ一む」、市のホームページで参加者を募集しており、移住希望者登録した方で、ツアーに参加する世帯には、参加に要した経費の一部を助成します。(上限5万円)

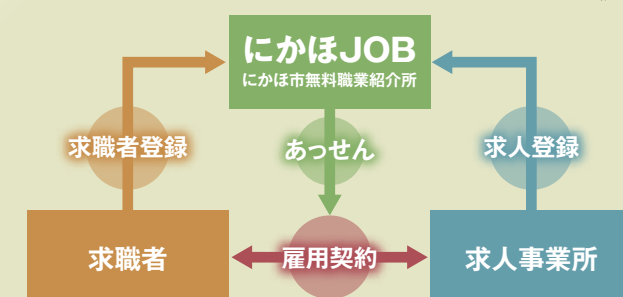


初めてここにやってくる人にも、ふるさとへ帰ってくる人にも、
秋田県やにかほ市に関心を持っていただけるのは、本当に嬉しいこと。
仕事や住まいの情報など、移住前に知っておくと便利な支援制度をぜひご活用ください。

仕事のこと

にかほ市無料職業紹介所 「にかほJOB」

にかほ市に移住を希望する求職者に対し、
市内企業等の職業紹介を行います。



www.nikahome.jp/nikahojob

Aターン就職促進交通費等補助金

県外に居住されている方で、にかほ市内に就職を希望する
新規大学等卒業予定者及びAターン登録者を対象に、
にかほ市内を就職場所とする企業との採用面接及び
インターンシップの参加に要した交通費等の2分の1を補助します。
(上限2万5千円)

起業・創業支援事業

移住後、市内で創業を目指す起業家の方に対し、起業創業専門家
による相談支援を行います。

キャリア相談支援事業

就職や転職などを考える移住者に対し、キャリアコンサルタント
による職業適性診断等の相談支援を行います。

住まいのこと



定住奨励金

定住を目的として市内に住宅を取得し転入された方
(もしくは転入後定住のため3年以内に住宅を取得した方)に対し、
最大100万円の奨励金、固定資産税相当額3ヶ年分、
家族1年間無料温泉パスポートを交付します。

多世帯同居奨励金

定住を目的とした転入により、家族と多世帯同居となった方が、
住宅の増改築を行う場合、対象工事費の2分の1を
補助します。(上限50万円)

空き家情報バンク

にかほ市内の空き家を探している移住希望者に対して、
空き家情報登録制度の利用希望者に登録することにより、
空き家に関する情報を提供します。

移住者用空き家仲介手数料補助金

空き家情報登録制度に利用希望者として登録されている移住者と、
空き家情報バンクに登録されている物件の売買または賃貸借を成約
した場合、必要となる仲介手数料の一部を補助します。(上限5万円)



市民の暮らしを幅広くサポート

にかほ市の支援制度一覧



PICK UP

特におすすめの支援！



地元就職者向け

フレッシュワーク奨励金事業

最大30万円を交付

4年間で



高校、大学等を卒業又は中途退学後1年以内のにかほ市出身者で、市内に定住し、就職している方を対象に、4年間で最大30万円を交付します。

商工政策課 0184-43-7600

地元就職者向け

奨学金返還助成制度

最大5年分を助成

奨学金返還金相当額



市内に定住し、就職している高校・大学等卒業者又は市内に転入し、就職している既卒者で、奨学金を返還している方を対象に、奨学金返還金相当額を最大5年分助成します。(上限204,000円/年)

教育総務課 0184-38-2259

子育て世帯向け

移住者向けすこやか保育料助成制度

保育料全額を助成

最大6年間



転入時点で小学校就学前までの子どもがいる世帯又は転入日から1年以内に出生した子どもがいる世帯を対象に、市内の保育所・認定こども園を利用している対象となる子どもの保育料を最大6年間全額助成します。(所得制限なし)

子育て長寿支援課 0184-32-3040



住まい

木造住宅耐震診断・改修事業

一定の要件を満たす木造住宅を対象に、耐震診断と改修工事に要する費用の一部を補助します。

防災課 0184-43-7504

住宅リフォーム推進事業(一般型)

工事費50万円以上のリフォーム工事を行う場合に工事費の5%を補助します。(上限10万円)(※市内業者が工事を施工するなどの条件あり)

建設課 0184-38-4306

住宅リフォーム推進事業(子育て持ち家型)

18歳以下の子が2人以上同居する世帯が、工事費50万円以上のリフォーム工事を行う場合に工事費の10%を補助します。(上限20万円)(※市内業者が工事を施工するなどの条件あり)

建設課 0184-38-4306

住宅リフォーム推進事業(子育て空き家購入型)

18歳以下の子が1人以上同居する世帯が、建築後10年を経過した空き家(戸建)を購入し、工事費50万円以上のリフォーム工事を行う場合に工事費の15%を補助します。(上限30万円)(※市内業者が工事を施工するなどの条件あり)

建設課 0184-38-4306



仕事

創業チャレンジ補助金事業

にかほ市で起業・創業を図ろうとする方で、創業塾等の商工会による支援を受けている方に対し、対象経費(事業拠点費、広告宣伝費)の2分の1を補助します。(上限50万円)

商工政策課 0184-43-7600

創業資金融資あっせん

にかほ市内で新たに創業予定または創業から5年以内の個人及び中小企業者を対象に、事業に必要な運転資金及び設備資金に係る融資のあっせんを図り、融資を受けた創業者に市が保証料全額及び利子の一部を補助します。

商工政策課 0184-43-7600

就業資格取得助成事業

求職者に対し、就職に役立つ資格等の取得に要した費用の2分の1を補助します。(上限5万円)

商工政策課 0184-43-7600

企業人材育成支援事業

新卒者や未経験者を対象とした各種研修や、企業の中堅者向けの教育、新卒者等の市内定着に繋がる事業を実施します。

商工政策課 0184-43-7600

夏休み親子職場見学会事業

地元企業への理解を深めるため、夏休み期間中に小学生の親子を対象とした市内企業の職場見学・体験を行います。

商工政策課 0184-43-7600

未来農業のフロンティア育成研修事業

就農を目指す方が秋田県農業試験場などで2年間の研修を受け、農業経営に必要な知識や技術を習得できます。

農林水産課 0184-38-4303

新時代を勝ち抜く! 農業夢プラン応援事業

経営の複合化や6次産業化、新規就農に必要な機械・施設等の導入に対し支援します。

農林水産課 0184-38-4303

林業トップランナー養成研修等支援事業

秋田林業大学校研修受講料を助成します。

農林水産課 0184-38-4303

漁業就業者研修支援事業

県の漁業研修事業への嵩上分を助成します。

農林水産課 0184-38-4303



子育て・教育

福祉医療費助成事業

乳幼児から高校卒業まで、市独自の補助により医療費を無料化。また、入院した際の食事代についても半額を補助します。

市民課 0184-32-3032

保育料軽減事業

市の保育料を国基準の保育料よりも低く設定しており、さらに県と市で保育料を助成する「すこやか子育て支援事業」を実施しています。(所得制限あり)

子育て長寿支援課 0184-32-3040

すこやか子だから祝金

第2子以降の子どもの出生について、第2子10万円、第3子以降20万円の子だから祝い金を支給します。(1年以上在住者に限る)

子育て長寿支援課 0184-32-3040

チャイルドシート購入補助

チャイルドシートの購入費を、上限15,000円で半額補助します。

子育て長寿支援課 0184-32-3040

学童保育クラブ

放課後または長期の休み期間中、児童だけで過ごさなければならない小学生が、指導員や友だちと過ごす場所を提供します。

子育て長寿支援課 0184-32-3040

不妊・不育症治療費助成事業

特定不妊、一般不妊、不育症治療を受ける夫婦に対し、治療に要する費用の一部を助成します。

健康推進課 0184-32-3000

任意予防接種事業

ロタウイルス(乳児)、インフルエンザ(妊婦、幼児、小・中学生)、成人風疹(20~49歳)予防接種の全額または一部を助成します。

健康推進課 0184-32-3000

フッ化物洗口実施事業

子どもの虫歯予防を目的として、保育園・幼稚園の年長児、小・中学生を対象にフッ化物洗口を実施します。

健康推進課 0184-32-3000

奨学資金貸付制度

高校・大学等に進学するための奨学資金を無利子で貸付します。

教育総務課 0184-38-2259



移住に関するQ&A

よくある質問をまとめました

くらしに関する質問



医療環境や介護環境について教えてください。

市内には内科や小児科などの医院・診療所があり、市民の健康を支えています。近隣地域にある総合病院では、夜間や緊急時の受診が可能です。また、介護サービスや介護施設も充実していますので、介護等が必要な高齢者の方でも安心して生活することが出来ます。



交通機関について教えてください。また、自家用車は必要ですか？

市内ではバスや電車などを利用することができますが、都会に比べると公共交通機関が充実していない為、日常生活における自家用車の必要性が高いです。

住まいに関する質問



空き家は紹介してもらえますか？

「にかほ市空き家情報バンク」や、民間の不動産会社が市内の空き家を紹介しています。ただし、空き家情報バンクでは空き家の情報提供等は行っておりますが、空き家所有者と空き家利用者との交渉や斡旋などはしておりません。



公営住宅の情報はどこで入手できますか？また、入居条件等についても教えてください。

にかほ市の公営住宅情報は、P8をご覧ください。詳細については、**建設課(0184-38-4307)**にてご案内しております。



住まいに関する助成・補助金等がありますか？

「定住奨励金」、「多世帯同居奨励金」などがあります。

仕事に関する質問



市内の就職先を探す場合、どこで求人情報をみたり、相談したりできますか？

にかほ市では、移住希望者を対象にハローワークと同様に就職相談や職業紹介等を行う無料職業紹介所を開設しておりますので、ぜひご利用ください。また、市内企業との採用面接を行った際の交通費等の助成も行っております。



農業を始めたいと思っていますが、支援等がありますか？

農業に関する支援については、P22をご覧ください。



起業したい場合、どのような支援がありますか？

起業・創業を考えている方や関心がある方を対象とした支援等がありますので、P20・22をご覧ください。

子育て・教育に関する質問



子どもたちの教育環境はどうでしょうか？

市内には、9つの保育園・認定こども園、4つの小学校、3つの中学校と1つの高等学校があります。地域によって生徒数などに大きな違いはありますが、それぞれに特色があり、子どもたちを温かく大切に見守り育てていく教育環境となっています。



子育て支援策を教えてください。

にかほ市は、医療費や保育料の助成など子育て世帯に対する支援が充実しております。H30年度からは、移住世帯向けの保育料全額助成（所得制限なし）を行っております。その他の支援等については、P21・22をご覧ください。

その他に関する質問



移住についてどこに相談すればいいですか？

にかほ市商工政策課がワンストップ窓口として、市外からにかほ市への移住に関するご相談を承ります。にかほ市にお越しの際には、にかほ市役所商工政策課窓口で直接、ご相談を承ることもできますので、ご希望の訪問日時を事前にお問い合わせください。



移住体験イベントはありますか？

にかほ市では、お試し移住体験ツアーを年に数回開催しております。実施については、ポータルサイト「にかほーむ」にて周知・募集を行いますので、ご確認ください。

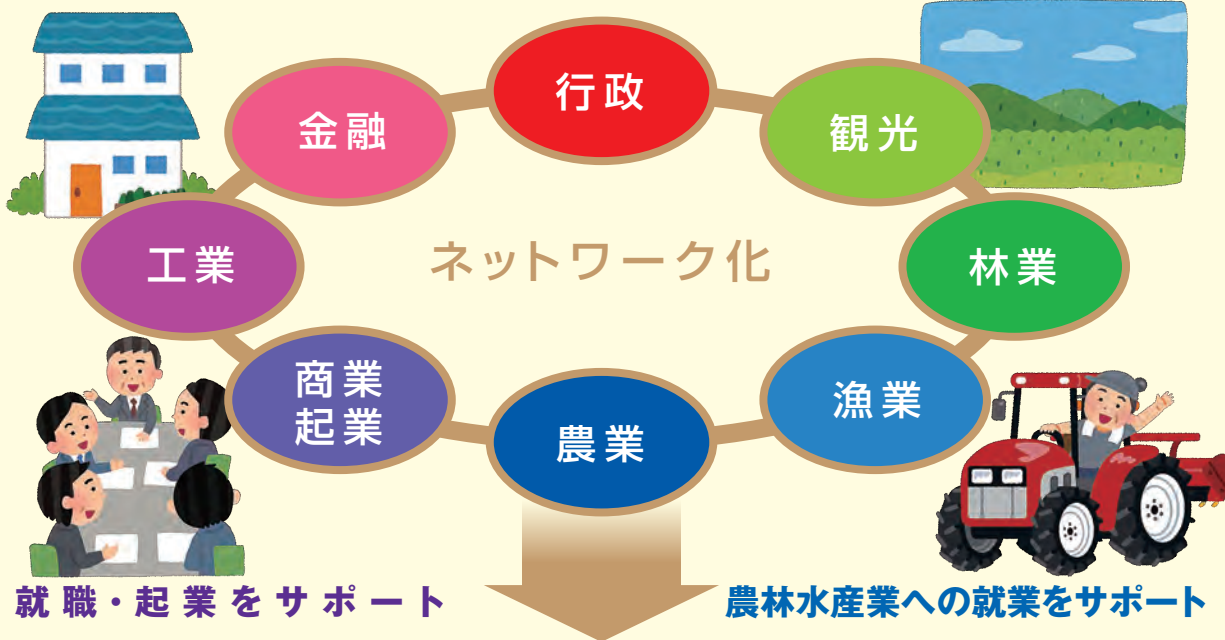
『オールにかほ』で移住をサポート！

にかほ市移住・Uターン推進協議会

にかほ市では、行政と民間団体が連携・協力し、移住・Uターンを推進することにより、定住人口の増加及び地域振興を図ることを目的として、平成30年4月24日に「にかほ市移住・Uターン推進協議会」を設立しました。この協議会では、移住・Uターンを希望される方に対し、仕事や住居など移住等に関する相談対応や情報提供のワンストップ化を図り、移住相談会やお試し移住体験ツアー、就業体験など移住に必要となる様々な支援を「オールにかほ」で取り組んでいます。

暮らし・住まいをサポート

にかほ市の魅力を発信



ワンストップでの相談対応・サポート

情報発信	にかほ市の魅力や特色、支援情報の発信
移住支援	移住相談の対応、移住フェアへの参加・開催、お試し移住体験の実施
仕事支援	無料職業紹介所への橋渡し、市内企業とのマッチング、農林水産業の就業体験・支援、インターンシップ等の実施
住居支援	空き家・市営住宅の紹介、不動産会社への橋渡し

相談窓口

移住・Uターンに関する相談はこちら

にかほ市移住・Uターン推進協議会 【事務局】にかほ市商工政策課(相談担当:ふるさと創造班)

相談日	月曜日～金曜日(祝日及び年末年始休暇除く)
相談時間	8:30～17:15
場所	〒018-0192 秋田県にかほ市象潟町字浜ノ田1 にかほ市役所象潟庁舎
連絡先	T E L : 0184-43-7600 F A X : 0184-43-3239 E-mail: shoukou@city.nikaho.lg.jp

首都圏にある秋田県の相談窓口はこちら

あきたで暮らそう! Aターンサポートセンター

相談日	火曜日～日曜日(祝日及び夏季・年末年始休暇除く)
相談時間	10:00～18:00
場所	〒100-0006 東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館8F 認定NPO法人ふるさと回帰支援センター内
連絡先	T E L : 080-9292-5195(相談員直通) E-mail: akita1@furusatokaiki.net
アクセス	JR有楽町駅(京橋口・中央口(銀座側))下車、 東京メトロ有楽町駅(地下直結)